

2020年11月19日

日本造血細胞移植学会移植認定診療科責任医師 各位

新型コロナウイルス感染症蔓延下における凍結申請について（再周知）

日本骨髄バンク 移植調整部

前略 患者コーディネートに際しては、日頃より様々なご協力を賜り誠に有難うございます。

これまで、新型コロナウイルス感染症蔓延下での特別対応として行っている凍結申請は140件を超えました。

感染状況はいまだ収束の兆しが見えず、更なる拡大の様相を呈していることから、採取直前の提供ドナーおよびその周辺の感染疑いなど、リスク増大が懸念されるため、特別対応による造血幹細胞凍結申請が可能であることをあらためて周知いたします。

なお、併せて新型コロナウイルス感染症の影響により採取直前に中止や延期をした事例についても情報提供します。

草々

【緊急避難的措置としてのプロダクト凍結について】 ※2020年8月13日通知文再掲

新型コロナウイルス感染症に伴う特別対応による凍結申請は、「新型コロナウイルス感染症の蔓延が収束するまでの当面の間」引き続き申請可能といたします。

- 新型コロナウイルス感染症に伴う造血幹細胞凍結申請書：

https://www.jmdp.or.jp/medical/notice_f/post_434.html

- 申請書送付の宛先：jmdpishoku@jmdp.or.jp

<参考資料>骨髄液の凍結保存・解凍・輸注【暫定版】

日本輸血・細胞治療学会ホームページより

<http://yuketsu.jstmct.or.jp/wp-content/uploads/2020/05/815c1eca9763a1b8a44728ec6f51352e.pdf>

※ 細胞処理の責任は各施設にあり、処理に伴い不具合が生じた場合であっても日本輸血・細胞治療学会として責任を負うものではありません。

- ◎ 今回の凍結・解凍操作により移植細胞の生着に不具合が生じていないかどうかを確認するため、輸注から1か月後を目安に、移植担当医師宛てに「調査票」をFAXし、回答をお願いしますので、ご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症対応による凍結状況（2020年11月18日現在）

- ・凍結申請された142件中、113件移植完了

<新型コロナウイルス感染症関連で、採取直前に延期・中止した事例>

事例1

ドナー家族が体調不良のため、念のため採取当日にPCR検査を実施、ドナー陽性が判明し採取中止。

事例2

採取1週間前にドナーの同僚Aが陽性、同僚Bが濃厚接触者となり、ドナーは濃厚接触者の濃厚接触者の疑い。潜伏期間を考慮し1か月強の延期となった。

事例3

ドナー入院前日（採取2日前）に同僚家族の感染が判明し、同僚は濃厚接触者、ドナーは濃厚接触者の濃厚接触者の疑い。潜伏確認期間が必要とされ、採取中止が検討された。

その後、ドナーの濃厚接触疑いが解消され、1日遅れで採取した。

上記の通り、ドナー自身の陽性判明だけではなく、周囲に濃厚接触者が出た場合も、採取延期・中止を検討する事例が散見されております。

前処置開始後に採取延期・中止となった場合、患者さんには致命的な状況となりかねませんので、凍結申請が可能である旨、改めてご留意いただきますようお願いいたします。

<お問合せ先>

日本骨髄バンク 移植調整部 (医療機関専用)

TEL : 03-5280-4771 / FAX : 03-5280-3856